

## ◆ 2019年7月からの改訂

暑中環境で施工されるコンクリートに生じる種々の不具合の対策方法に関する指針である、日本建築学会「暑中コンクリートの施工指針・同解説」が2019年7月に改定されました。

暑中環境下で製造・施工されるコンクリートは、高い外気温や日射の影響で、練上がり時の温度が高くなるために、標準環境下の場合と比較して、スランプや空気量が小さくなる傾向があります。これを整理すると図-1のようになります。

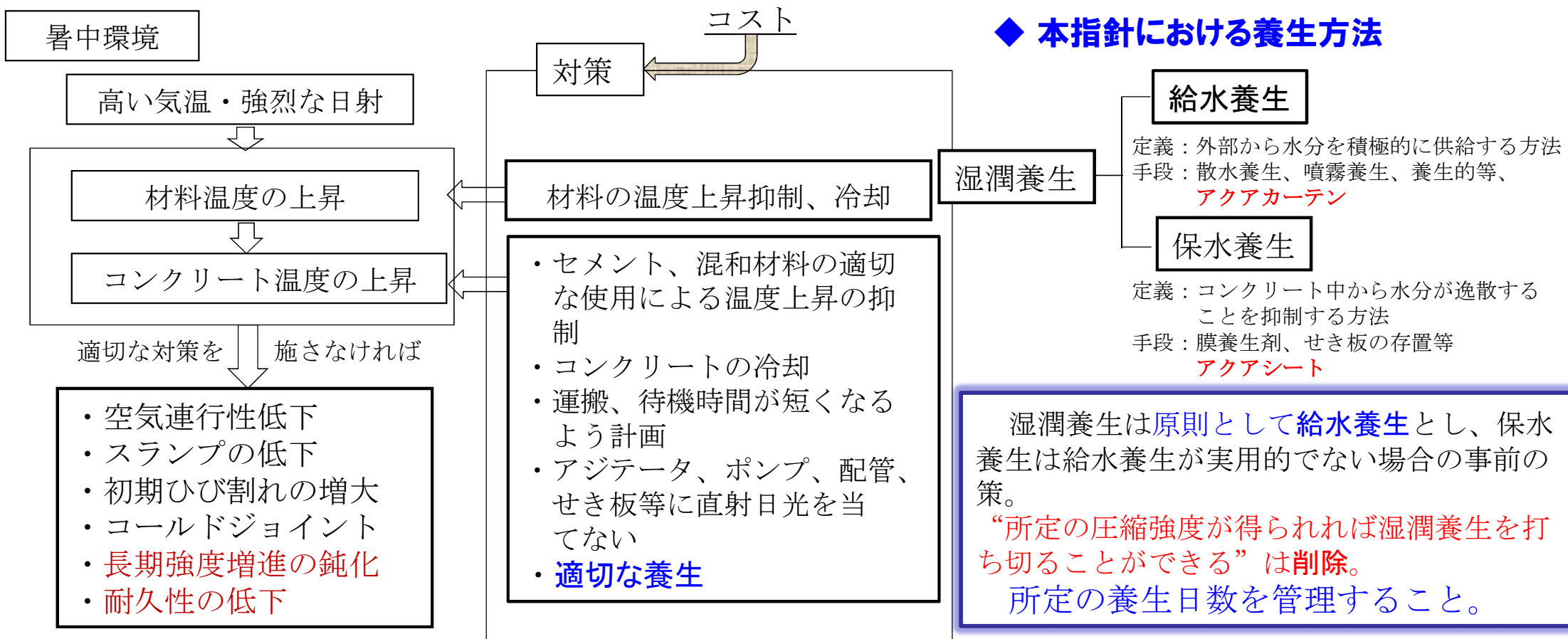


図-1 暑中環境下における不具合と対策